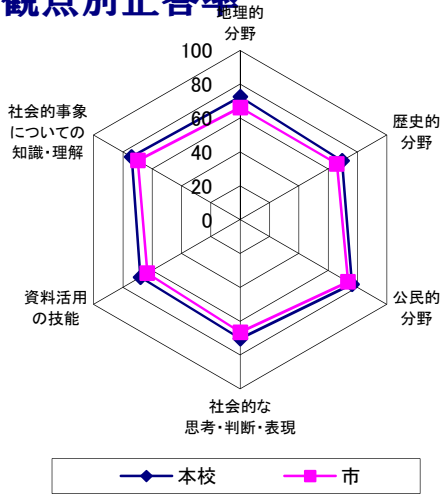


宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	72.5	66.2	58.0
	歴史的分野	69.5	65.8	60.8
	公民的分野	76.3	73.5	69.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	70.3	66.6	58.6
	資料活用 of 技能	68.1	63.4	55.9
	社会的事象についての知識・理解	74.1	69.8	64.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
(社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	平均正答率は72.5%と、市平均の66.2%を上回っている。 ○世界の諸地域と日本の諸地域、いずれの領域においても市平均を上回っている。 ●資料活用 of 技能を問う設問では、他の設問よりも低い正答率になった。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・世界の諸地域では、世界の多様性について様々な資料から読み取りを行うなど、今後は資料を多用した授業を展開することで、資料を読み取った情報を活用する力の育成に努めたい。
歴史的分野	平均正答率は69.5%と、市平均の65.8%を上回っている。 ○いずれの観点も市平均を上回ることができた。 ●近現代の日本の領域が他よりも低い正答率であった。	・思考力を育成するため、資料を読み取り、その情報をもとにまとめ、判断し発表する授業の展開を多用していく。そのために適切な課題を設ける課題学習を多く設定する。
公民的分野	平均正答率は76.3%と、市平均の73.5%を上回っている。 ○フランス人権宣言や裁判のしくみを問う設問では90%を超える高い正答率を得た。 ●憲法改正の手続きを問う設問では市平均を2.4ポイント下回った。	・現代社会という単元の性格を生かし、実際の社会的事象をテーマとした教材作成を行い、生徒の社会への興味関心を喚起するよう努める。 ・社会的事象の知識理解を徹底するために、テストや単元のまとめを利用して、基礎・基本的な事項の理解を深める。